

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-133948

(43) 公開日 平成8年(1996)5月28日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 K	7/48			
	7/00	X		
		F		
		K		
31/70				

審査請求 未請求 請求項の数3 F D (全 6 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願平6-297886	(71) 出願人	000001959 株式会社資生堂 東京都中央区銀座7丁目5番5号
(22) 出願日	平成6年(1994)11月7日	(72) 発明者	前田 憲寿 神奈川県横浜市港北区新羽町1050番地 株 式会社資生堂第1リサーチセンター内
		(72) 発明者	福田 寛 神奈川県横浜市港北区新羽町1050番地 株 式会社資生堂第1リサーチセンター内

(54) 【発明の名称】 皮膚外用剤

(57) 【要約】

【構成】 オンジサポニン(Onjisaponin) および/またはその塩を配合することを特徴とする皮膚外用剤。

【効果】 使用性・安全性ともに良好で、優れた皮膚美白効果を有する。

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 オンジサポニン(Onjisaponin) および／またはその塩を配合することを特徴とする皮膚外用剤。

【請求項2】 オンジサポニン(Onjisaponin) および／またはその塩の配合量が0.001～20.0重量%である請求項1記載の皮膚外用剤。

【請求項3】 美白用皮膚外用剤である請求項1または2記載の皮膚外用剤。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、特に美白作用に優れ、使用性・安全性ともに良好な皮膚外用剤に関する。

【0002】

【従来の技術】 目尻のしわやしみ、そばかすなどの色素沈着に代表される皮膚の老化現象は、他の組織や臓器に比較して早く現れ、20代半ばから観察される場合が多い。これは、皮膚が生体の最外層にあり、紫外線、酸素、化学物質などの外的刺激(ストレス)を受けやすいためと考えられる。このような紫外線、ストレスによるしみ、そばかすなどのメラニン色素の皮膚での沈着は、メラニン産生細胞である色素細胞の増殖や色素細胞内でのメラニン産生機能が亢進することによって生じる。最近の研究では、紫外線やストレスによって、皮膚内にこのように色素細胞を活性化する因子が増加することによってしみ、そばかすが生じることが明かになりつつある。その防止および美白の目的では、従来よりアスコルビン酸およびその誘導体が用いられている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来用いられているアスコルビン酸ないしその誘導体では、色素沈着の阻害効果を十分に発揮することが困難であった。本発明は前記従来技術の課題に鑑みなされたものであり、その目的は色素沈着を直接的かつ効率的に抑制することのできる美白作用に優れ、使用性・安全性ともに良好な皮膚外用剤を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】 前記目的を達成するために本発明者らが鋭意研究した結果、オンジサポニン(Onjisaponin) および／またはその塩が優れた美白作用を有し、使用性・安全性の点でも優れていることを見だし、本発明を完成した。すなわち本発明は、オンジサポニン(Onjisaponin) および／またはその塩を配合することを特徴とする皮膚外用剤である。本発明の皮膚外用剤の有効成分であるオンジサポニン(Onjisaponin) および／またはその塩は、その美白作用は未だ全く知られていない。また、これらを配合した皮膚外用剤も全く知られていない。

【0005】 以下、本発明の構成について詳述する。オンジサポニン(Onjisaponin) はイトヒメハギ(オンジ: *Polygala tenuifolia* Willd.) の植物の抽出物から得ら

2

れるサポニンである。本発明のオンジサポニンおよび／またはその塩は、皮膚での色素細胞活性化因子の産生やその作用を抑制する作用があり、その結果、色素細胞のメラニン産生および色素細胞の増殖を抑制する。オンジサポニンの塩としては、ナトリウム塩、カリウム塩等のアルカリ土類金属塩、塩基性アミノ酸またはアルカノールアミン等、およびそのエステル等が挙げられ、具体的にはオンジサポニナリウム塩等が例示される。

【0006】 オンジサポニンおよび／またはその塩の配合量は、その使用形態、使用目的、使用方法、剤型などに応じて適宜選択できるが、通常は皮膚外用剤全量に対して0.001～20.0重量%、好ましくは0.001～5.0重量%である。オンジサポニンおよび／またはその塩は、アスコルビン酸リン酸エステルおよび／またはプラセンタエキスと併用することによって美白作用はさらに増強される。その場合のアスコルビン酸リン酸エステルおよび／またはプラセンタエキスの配合量は、適宜選択できるが、通常は皮膚外用剤全量に対して0.001～20.0重量%、好ましくは0.01～5.0重量%である。これらは、1種または2種以上を組み合わせ用いることができる。なお、本発明の皮膚外用剤の有効成分であるオンジサポニンおよび／またはその塩は、局所的にも全身的にも悪影響を及ぼさない。

【0007】 本発明の皮膚外用剤は、常法に従って、乳液、ローション、クリーム、ゼリー、パック、粉末剤、軟膏等の種々の剤型の化粧料及び医薬用製剤とすることができる。さらに前述した必須成分以外に通常用いられる他の成分、例えば、多糖類、コレステロール類、甘草等の植物抽出物、グリチルリチン酸およびその誘導体、グリチルレチン酸およびその誘導体、ヒノキチオール、トコフェロールおよびその誘導体、アスコルビン酸およびその誘導体、コウジ酸およびその誘導体、アルブチン、ハイドロキノン類、トラネキサム酸、フラボノイド、レチノール、ホスファチジルコリン等のリン脂質、ブチルヒドロキシトルエン等の抗酸化剤、紫外線吸収剤、賦形剤、油分、界面活性剤、金属イオン封鎖剤、pH調整剤、防腐剤、保湿剤、香料、水、アルコール、増粘剤、高分子、色剤等を必要に応じて適宜配合することができる。

【0008】

【実施例】 以下、実施例に基づき本発明を更に詳細に説明する。まず、実施例に先立ち、本発明の有効成分の効果試験例を挙げて、本発明の有効性を示す。表1の処方にに基づき常法によって化粧水を調製し、美白効果を調べた。

【0009】 <試験方法> 顔面に、しみ、そばかす等を有する年齢27～52才の女性30名をパネルとし、一群6名とし5群にわけ、各成分含有化粧水を1日1回3ヶ月間毎日顔面に塗布させ、使用後の美白効果を下記の判定基準に基づいて判定した。

＜判定基準＞

著効：色素沈着が目立たなくなった。

有効：色素沈着がかなり薄くなった。

やや有効：色素沈着がやや薄くなった。

無効：色素沈着に変化がなかった。

＜判定＞

A：被験者のうち著効および有効の示す割合が80%以上の場合

B：被験者のうち著効および有効の示す割合が65～80%の場合

*0%の場合

C：被験者のうち著効および有効の示す割合が50～65%の場合

D：被験者のうち著効および有効の示す割合が50%未満の場合

＜結果＞結果は処方と共に表1に示す。

【0010】

【表1】

成分	1	2	3	比較例1	比較例2
オンジサポニン	0.5	0.25	0.1	—	—
アスコルビン酸	—	—	3.0	3.0	—
リン酸エステル					
プラセンタエキス	—	0.25	—	—	0.5
エタノール	25	25	25	25	25
ポリオキシエチレン					
オレイルアルコール	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
グリセリン	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
精製水	残余	残余	残余	残余	残余
美白効果	A	A	A	C	C

【0011】この結果から、本発明の皮膚外用剤は、美白効果に優れることがわかる。次に実施例をあげて本発明をさらに詳しく説明する。本発明はこれによって限定※

※されるものではない。配合量は重量%である。

【0012】

実施例1 バニシングクリーム

ステアリン酸	5.0
ステアリルアルコール	4.0
ステアリン酸ブチルアルコール	
エステル	8.0
グリセリンモノステアリン酸	
エステル	2.0
オンジサポニン	0.5
プロピレングリコール	10.0
グリセリン	4.0
苛性カリ	0.2
防腐剤・抗酸化剤	適量
香料	適量
イオン交換水	残余

（製法）イオン交換水にプロピレングリコールと苛性カリおよびオンジサポニンを加え溶解し加熱して70℃に保つ（水相）。他の成分を混合し加熱融解して70℃に保つ（油相）。水相に油相を徐々に加え、全部加え終わ

ってからしばらくその温度に保ち反応をおこさせる。その後ホモミキサーで均一に乳化し、よくかきまぜながら30℃まで冷却する。

【0013】

実施例2 中性クリーム

ステアリルアルコール	7.0
ステアリン酸	2.0
ラノリン	2.0
スクワラン	5.0

5

6

2-オクチルドデシルアルコール	6.0
ポリオキシエチレン(25モル)	
セチルアルコールエーテル	3.0
グリセリンモノステアリン酸エステル	2.0
アスコルビン酸リン酸エステル	3.0
オンジサポニンナトリウム塩	1.0
防腐剤・抗酸化剤	適量
イオン交換水	残余

(製法) イオン交換水に、アスコルビン酸リン酸エステル及びオンジサポニンナトリウム塩を加え加熱して70℃に保つ(水相)。他の成分を混合し加熱融解して70℃に保つ(油相)。水相に油相を加え予備乳化をおこな*

*い、ホモミキサーで均一に乳化した後、よくかきまぜながら30℃まで冷却する。

【0014】

実施例3 コールドクリーム

固形パラフィン	5.0
ミツロウ	10.0
流動パラフィン	41.0
グリセリンモノステアリン酸 エステル	2.0
ポリオキシエチレン(20モル)	
ソルビタンモノラウリン酸エステル	2.0
ブラセンタエキス	1.0
オンジサポニン	2.0
ブチルヒドロキシトルエン	0.4
石鹼粉末	0.1
硼砂	0.2
イオン交換水	残余
香料	適量
防腐剤	適量

(製法) イオン交換水に石鹼粉末と硼砂及びブラセンタエキスおよびオンジサポニンを加え加熱溶解して70℃に保つ(水相)。他の成分を混合し加熱融解して70℃に保つ(油相)。水相に油相をかきまぜながら徐々に加*

*え反応を行う。反応終了後ホモミキサーで均一に乳化し、乳化後よくかきまぜながら30℃まで冷却する。

【0015】

実施例4 乳液

ステアリン酸	2.5
セチルアルコール	1.5
流動パラフィン	10.0
ポリオキシエチレン(10モル)	
モノオレイン酸エステル	2.0
ポリエチレングリコール1500	3.0
トリエタノールアミン	1.0
イトヒメハギ抽出物	0.05
アスコルビン酸リン酸エステル	0.1
イオン交換水	残余
香料	適量
防腐剤	適量

(製法) イオン交換水にポリエチレングリコール1500とトリエタノールアミン、アスコルビン酸リン酸エステルおよびイトヒメハギのエタノール抽出物を加え加熱溶解して70℃に保つ(水相)。他の成分を混合し加熱

融解して70℃に保つ(油相)。水相に油相を加え予備乳化を行いホモミキサーで均一に乳化し、乳化後よくかきまぜながら30℃まで冷却する。

【0016】

実施例5 乳液

ポリオキシエチレン(20モル)	
ベヘニルエーテル	2.0
ソルビタンモノパルミテート	1.5
パルミチン酸イソステアリル	5.0
ミリスチン酸イソステアリル	3.0
MCステアリン酸	2.0
セタノール	1.0
ミツロウ	2.0
流動パラフィン	3.0
グリセリン	2.0
プロピレングリコール	5.0
ブラセンタエキス	1.0
アルブチン	3.0
イトヒメハギ抽出物	0.2
イオン交換水	残余
香料	適量
防腐剤・抗酸化剤	適量

(製法) イオン交換水にプロピレングリコール、ブラセンタエキス、アルブチンおよびイトヒメハギの含水エタノール抽出物を加え加熱溶解して70℃に保つ(水相)。他の成分を混合し加熱融解して70℃に保つ(油*

*相)。水相に油相を加え予備乳化を行いホモミキサーで均一に乳化し、乳化後よくかきまぜながら30℃まで冷却する。

【0017】

実施例6 化粧水

(アルコール相)

95%エタノール	10.0
ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油	2.0
プロピレングリコール	4.0
オレイルアルコール	0.1
レシチン	2.5

(水相)

グリセリン	0.8
ギムネサポニン	0.2
オンジサポニン	0.2
イオン交換水	残余
紫外線吸収剤	適量

(製法) 水相、アルコール相を調整後可溶化する。 ※ ※ 【0018】

実施例7 ビールオフ型バック

(アルコール相)

95%エタノール	10.0
ポリオキシエチレン(15モル)	
オレイルアルコールエーテル	2.0
オンジサポニン	5.0

防腐剤	適量
香料	適量

(水相)

ポリビニルアルコール	12.0
グリセリン	3.0
ポリエチレングリコール1500	1.0
ブラセンタエキス	1.0
イオン交換水	残余

(製法) 80℃にて水相を調整し、50℃に冷却する。 50 ついで室温で調整したアルコール相を添加後均一に混合

し、放冷する。

【0019】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の皮膚外用剤は、本発明において特徴的な必須成分の作用により、

美白効果に優れ、肌のしみ、そばかすを防ぎ、きめの整ったしっとりとした皮膚にする、安全性の高いものである。

フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁶

A61K 35/78

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

ADA C 8217-4C

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-133948
(43)Date of publication of application : 28.05.1996

(51)Int.Cl. A61K 7/48
A61K 7/00
A61K 31/70
A61K 35/78

(21)Application number : 06-297886 (71)Applicant : SHISEIDO CO LTD
(22)Date of filing : 07.11.1994 (72)Inventor : MAEDA NORIHISA
FUKUDA MINORU

(54) SKIN PREPARATION FOR EXTERNAL USE

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a skin preparation for external use formulated with Polygalae Radix saponin, having excellent skin whitening effect, and good in both usability and safety.

CONSTITUTION: This skin preparation for external use contains, as active ingredient, 0.001-20wt.% of Polygalae Radix saponin and/or its salt. The active ingredient, which has activity to inhibit the production or action of chromatophore activating factor in the skin, suppresses the melanogenesis and proliferation of chromatophores. Combination of the active ingredient with 0.001-20wt.%, based on this skin preparation, of an ascorbic phosphoric ester and/or placenta extract potentiates the skin whitening effect of this skin preparation. The Polygalae Radix saponin is a saponin obtainable from the extract of Polygala tenuifolia Willd. The skin preparation can be made into cosmetics and medicinal preparations of such formulations as milky lotion, lotion, cream, jelly, pack, powder and ointment.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]
[Date of sending the examiner's decision of rejection]
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]
[Date of final disposal for application]
[Patent number]
[Date of registration]
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

CLAIMS

[Claim(s)]

[Claim 1] ONJI saponin (Onjisaponin) And/or, skin medicine for external application characterized by blending the salt.

[Claim 2] ONJI saponin (Onjisaponin) And/or, skin medicine for external application according to claim 1 whose loadings of the salt are 0.001 – 20.0 % of the weight.

[Claim 3] The skin medicine for external application according to claim 1 or 2 which is a skin medicine for external application for ****.

[Translation done.]

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

DETAILED DESCRIPTION

[Detailed Description of the Invention]

[0001]

[Industrial Application] Especially this invention is excellent in a **** operation, and usability and safety are related with a good skin medicine for external application.

[0002]

[Description of the Prior Art] The degraded phenomenon of the skin represented by pigmentation, such as the wrinkling and stain of an outer canthus, and a freckle, appears early as compared with other organizations and internal organs, and is observed in many cases from the middle of the 20th generation. This has the skin in a living body's outermost layer of drum, and is considered for being easy to receive an external stimulus (stress) of ultraviolet rays, oxygen, a chemical, etc. Such ultraviolet rays and stress are depended and permeated, and the deposition in the skin of melanins, such as a freckle, is produced when multiplication of the pigment cell which is a melanin production cell, and a melanin production function within a pigment cell rise. In the latest research, that permeate when the factor which activates a pigment cell in this way increases into the skin, and a freckle arises by ultraviolet rays or stress is becoming whether to be Ming. For the purpose of the prevention and ****, an ascorbic acid and its derivative are used conventionally.

[0003]

[Problem(s) to be Solved by the Invention] However, it was difficult to fully demonstrate the prevention effect of pigmentation in the ascorbic acid used conventionally or its derivative. this invention is made in view of the technical problem of the aforementioned conventional technology, the purpose is excellent in the **** operation which can suppress pigmentation directly and efficiently, and it is in usability and safety offering a good skin medicine for external application.

[0004]

[Means for Solving the Problem] In order to attain the aforementioned purpose, as a result of this invention persons' inquiring wholeheartedly, it is an ONJI saponin (Onjisaponin). And/or, it has the **** operation excellent in the salt, and found out excelling also in respect of usability and safety, and this invention was completed. That is, this invention is a skin medicine for external application characterized by blending an ONJI saponin (Onjisaponin) and/or its salt. The **** operation is not yet known for the ONJI saponin (Onjisaponin) which is the active principle of the skin medicine for external application of this invention, and/or its salt at all. Moreover, the skin medicine for external application which blended these is not known at all, either.

[0005] Hereafter, the composition of this invention is explained in full detail. An ONJI saponin (Onjisaponin) is a saponin obtained from the extract of the vegetation of ITOHIMEHAGI (ONJI-olygala tenuifolia Willd.). The ONJI saponin of this invention and/or its salt have the operation which suppresses production and its operation of the pigment cell activator in the skin, consequently suppress melanin production of a pigment cell, and multiplication of a pigment cell. As a salt of an ONJI saponin, the ester, such as alkaline-earth-metal salts, such as sodium salt and potassium salt, a basic amino acid, or an alkanolamine, etc. is mentioned, and ONJI saponin potassium salt etc. is specifically illustrated.

[0006] Although the loadings of an ONJI saponin and/or its salt can be suitably chosen according to the use form, the purpose of use, operation, a pharmaceutical form, etc., they are usually 0.001 - 5.0 % of the weight preferably 0.001 to 20.0% of the weight to the skin medicine-for-external-application whole quantity. A **** operation is further reinforced by using together an ONJI saponin and/or its salt with ascorbic-acid phosphoric ester and/or placental extract. Although the ascorbic-acid phosphoric ester in that case and/or the loadings of placental extract can be chosen suitably, they are usually 0.01 - 5.0 % of the weight preferably 0.001 to 20.0% of the weight to the skin medicine-for-external-application whole quantity. These can be used combining one sort or two sorts or more. In addition, locally, the ONJI saponin which is the active principle of the skin medicine for external application of this invention, and/or its salt do not do a bad influence in whole body.

[0007] The skin medicine for external application of this invention can be considered as the various charge of makeup and the various tablets for physic of a pharmaceutical form, such as a milky lotion, a lotion, a cream, jelly, a pack, powdered material, and ointment, according to a conventional method. Other components usually used in addition to the **** component furthermore mentioned above, for example, polysaccharide, Plant extracts, such as cholesterol and licorice, a glycyrrhizinic acid, and its derivative, Glycyrrhetic acid and its derivative, a hinokitiol, a tocopherol, and its derivative, An ascorbic acid and its derivative, kojic acid and its derivative, arbutin, Phospholipid, such as hydroquinone, tranexamic acid, flavonoid, a retinol, and phosphatidylcholine, Anti-oxidants, such as butylhydroxytoluene, an ultraviolet ray absorbent, an excipient, an oil content, a surfactant, a sequestering agent, pH regulator, antiseptics, a moisturizer, perfume, water, alcohol, a thickener, a macromolecule, a coloring material, etc. can be blended suitably if needed.

[0008]

[Example] Hereafter, based on an example, this invention is explained still in detail. First, in advance of an example, the example of an effect examination of the active principle of this invention is given, and the effectiveness of this invention is shown. Based on prescription of Table 1, by the conventional method, face toilet was prepared and the **** effect was investigated.

[0009] Permeated, used as the panel the 30 women of 27-52 years old of age who have a freckle etc., considered as six groups, divided into five groups, the face was made to apply each component content face toilet to the

<test-method> face once [1] per day every day during three months, and the **** effect after use was judged based on the following criterion.

<Criterion> higher efficacy: Pigmentation stopped being conspicuous.

effective: — pigmentation became quite thin

Minor response: Pigmentation became a little thin.

Invalid: There was no change in pigmentation.

< judging >A: — B[when higher efficacy and the shown effective rate are 80% or more among subjects]: — C[when higher efficacy and the shown effective rate are 65 – 80% among subjects]: — D[when higher efficacy and the shown effective rate are 50 – 65% among subjects]: — when higher efficacy and the shown effective rate are less than 50% among subjects, a <result> result is shown in Table 1 with prescription

[0010]

[Table 1]

***** . ** . ** . Forerunner ; ***** . "*****
***** ** I machine . ** I horizontal machine . ** I ** ** ** ** good ***** ** ** . Forerunner I ** .
Forerunner I ** ** . ***** ** good **** . ***** ** (5) empress ** . ** I horizontal machine ** ** . ** I
machine . ** ***** . ***** . Horizontal machine . Horizontal machine . Horizontal machine . **** ** (5) bit **
***** . ** ***** ** ***** . ** I ** . ** I ** . ** I ** . ** I ** . ** I ** . ***** . Opportunity I ** machine
I ** . Opportunity I ** . Opportunity I ** . Opportunity I ***** . ***** . O **** O **** O **** O ****
O **** . ***** . ** . **** . ** . ** . [0011] This result shows that the skin medicine for external
application of this invention is excellent in the **** effect. Next, an example is given and this invention is explained in
more detail. this invention is not limited by this. Loadings are weight %.

[0012]

Example 1 Vanishing cream stearyl acid 5.0 stearyl alcohols 4.0 stearyl acid butyl alcohol Ester 8.0 glycerol
monostearin acid Ester A 2.0 ONJI saponin 0.5 propylene glycols 10.0 glycerols 4.0 caustic potash 0.2 antiseptics and
an anti-oxidant Optimum dose perfume Optimum dose ion exchange water A propylene glycol, caustic potash, and an
ONJI saponin are added to residual (process) ion exchange water, and it dissolves and heats. It keeps at 70 degrees C
(****). Other components are mixed, heating dissolution is carried out, and it keeps at 70 degrees C (oil phase). Since
an oil phase is added gradually and it all finishes adding it to ****, it maintains at the temperature for a while, and a
reaction is made to cause. After that, by the homomixer, it emulsifies uniformly and cools to 30 degrees C with stirring
well.

[0013]

Example 2 Neutral cream stearyl alcohol 7.0 stearyl acid 2.0 lanolin 2.0 squalane A 5.02-octyl dodecyl alcohol 6.0
polyoxyethylenes (25 mols) Cetyl alcohol ether 3.0 glycerol monostearin acid ester 2.0 ascorbic-acid phosphoric ester
3.0 ONJI saponin sodium salt 1.0 antiseptics and anti-oxidant To proper quantity ion-exchange-water residual
(process) ion exchange water, ascorbic-acid phosphoric ester and ONJI saponin sodium salt are added and heated. It
keeps at 70 degrees C (aqueous phase). Other components are mixed, heating dissolution is carried out, and it keeps
at 70 degrees C (oil phase). An oil phase is added to the aqueous phase and preliminary emulsification is performed.
After emulsifying uniformly by the homomixer, it cools to 30 degrees C with stirring well.

[0014]

An example 3 Cold cream solid paraffin 5.0 yellow bees wax 10.0 liquid paraffins A 41.0 glycerol monostearin acid 2.0
Ester Polyoxyethylene (20 mols) Sorbitan monochrome lauric-acid ester 2.0 placental extract 1.0 ONJI saponin 2.0
butylhydroxytoluene 0.4 soap powder 0.1 borax 0.2 ion exchange water Residual perfume Optimum dose antiseptics
Add soap powder, borax, placental extract, and an ONJI saponin to optimum dose (process) ion exchange water, and
carry out the heating dissolution. It keeps at 70 degrees C (aqueous phase). Other components are mixed, heating
dissolution is carried out, and it keeps at 70 degrees C (oil phase). In addition, it reacts gradually, stirring an oil phase
to the aqueous phase. It emulsifies uniformly by the homomixer after a reaction end. It cools with the sufficient
emulsification back to 30 degrees C with stirring.

[0015]

An example 4 Milky lotion stearyl acid 2.5 cetyl alcohol 1.5 liquid paraffins 10.0 polyoxyethylenes (ten mols) A
monochrome oleate 2.0 polyethylene glycols 1500 A 3.0 triethanolamine 1.0 Polygala-tenuifolia extract 0.05
ascorbic-acid phosphoric ester 0.1 ion exchange water Residual perfume Optimum dose antiseptics Add a
polyethylene glycol 1500, a triethanolamine and ascorbic-acid phosphoric ester, and the ethanol extract of the
Polygala tenuifolia to optimum dose (process) ion exchange water, and carry out the heating dissolution. It keeps at 70
degrees C (aqueous phase). Other components are mixed, heating dissolution is carried out, and it keeps at 70
degrees C (oil phase). An oil phase is added to the aqueous phase, preliminary emulsification is performed, and it
emulsifies uniformly by the homomixer. It cools with the sufficient emulsification back to 30 degrees C with stirring.

[0016]

An example 5 A milky lotion polyoxyethylene (20 mols) Behenyl ether 2.0 sorbitan monopalmitate 1.5 palmitic-acid
isostearyl 5.0 myristic-acid isostearyl 3.0MC stearyl acid 2.0 cetanols 1.0 yellow bees wax 2.0 liquid paraffins 3.0
glycerols 2.0 propylene glycols 5.0 placental extract 1.0 arbutin 3.0 Polygala-tenuifolia extract 0.2 ion exchange water
residual perfume Optimum dose antiseptics and anti-oxidant Add a propylene glycol, placental extract, arbutin, and the
water ethanol extract of the Polygala tenuifolia to optimum dose (process) ion exchange water, and carry out the
heating dissolution. It keeps at 70 degrees C (aqueous phase). Other components are mixed, heating dissolution is
carried out, and it keeps at 70 degrees C (oil phase). An oil phase is added to the aqueous phase, preliminary
emulsification is performed, and it emulsifies uniformly by the homomixer. It cools with the sufficient emulsification
back to 30 degrees C with stirring. [0017]

Example 6 Face toilet (alcoholic phase)

95% ethanol 10.0 polyoxyethylene hydrogenated castor oil 2.0 propylene glycols 4.0 oleyl alcohol 0.1 lecithin 2.5
(aqueous phase) Glycerol 0.8 Gymnema saponin 0.2 ONJI saponin 0.2 ion exchange water Residual ultraviolet ray
absorbent The optimum dose (process) aqueous phase and alcoholic phase. It solubilizes after adjustment.

[0018]

Example 7 PIRUOFU type pack (alcoholic phase)

95% ethanol 10.0 polyoxyethylenes (15 mols)

Oleyl alcohol ether 2.0 ONJI saponin 5.0 antiseptics Optimum dose perfume Optimum dose (aqueous phase)

Polyvinyl alcohol 12.0 Glycerol 3.0 polyethylene glycols 1500 1.0 placental extract 1.0 ion exchange water The aqueous phase is adjusted at 80 degrees C (process) of remainders, and it cools at 50 degrees C. Subsequently, after adding the alcoholic phase adjusted at the room temperature, it mixes uniformly and cools radiationally.

[0019]

[Effect of the Invention] As explained above, the safety of the skin medicine for external application of this invention which is excellent in the **** effect, prevents the stain of the skin and a freckle by operation of a characteristic *** component, and is used as the wet skin on which texture was ready in this invention is high.

[Translation done.]

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 08133948
PUBLICATION DATE : 28-05-96

APPLICATION DATE : 07-11-94
APPLICATION NUMBER : 06297886

APPLICANT : SHISEIDO CO LTD;

INVENTOR : FUKUDA MINORU;

INT.CL. : A61K 7/48 A61K 7/00 A61K 31/70 A61K 35/78

TITLE : SKIN PREPARATION FOR EXTERNAL USE

ABSTRACT : PURPOSE: To obtain a skin preparation for external use formulated with Polygalae Radix saponin, having excellent skin whitening effect, and good in both usability and safety.

CONSTITUTION: This skin preparation for external use contains, as active ingredient, 0.001-20wt.% of Polygalae Radix saponin and/or its salt. The active ingredient, which has activity to inhibit the production or action of chromatophore activating factor in the skin, suppresses the melanogenesis and proliferation of chromatophores. Combination of the active ingredient with 0.001-20wt.%, based on this skin preparation, of an ascorbic phosphoric ester and/or placenta extract potentiates the skin whitening effect of this skin preparation. The Polygalae Radix saponin is a saponin obtainable from the extract of Polygala tenuifolia Willd. The skin preparation can be made into cosmetics and medicinal preparations of such formulations as milky lotion, lotion, cream, jelly, pack, powder and ointment.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO